

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	杉の子クラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年10月27日		～ 令和7年11月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年10月27日		～ 令和7年11月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	手作りのおやつ作り(週一) 手作りの昼食提供(短縮授業、長期休暇)	・旬の食材を使って調理をする。 ・子供の好きな味付けにすることや、切り方を工夫することで「食べられた」につなげていく。	・保護者や子供の意見を取り入れる。 ・お手伝いをする事で食に興味をもってもらう。
2	福祉保健センターの建物の中で活動しているため地域の人との交流が多く、福祉設備も整っている。 地域の人たちとの交流が年に数回ある。	地域交流の際は一緒に楽しめるような計画をたてる。 保護者に様子を伝え、写真入りの通信を作成。	必要に応じて情報のやりとりを行う。
3	同法人内に生活介護、就労継続B型、共同生活援助の事業所があり、仕事の体験、見学等を行う。	高校生を対象とし、個々に応じて取り組む課題をきめる。 事業所との連携。	体験、見学後の感想等を報告する場の設定。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	福祉センターの中での活動のため、事業所以外の場所やものに目が向き興味をもってしまう。	事業所のものではない部分で思うように動かさず、触れない。	建物を傷つけずに、環境設定の工夫をする。 必要に応じて町と話をする。
2	送迎をしておらず、保護者のお迎えが急に変更になることがあるため、屋外での計画、集団活動がたてにくい。	帰宅時間がそれぞれ違う。	活動内容を周知してもらい保護者に伝える。
3	送迎をしていない。	働く保護者が多い中お迎えの負担は大きい。	令和8年度より送迎のサービスを予定している。